

第95期 2018年 1月 1日から  
2018年 6月30日まで

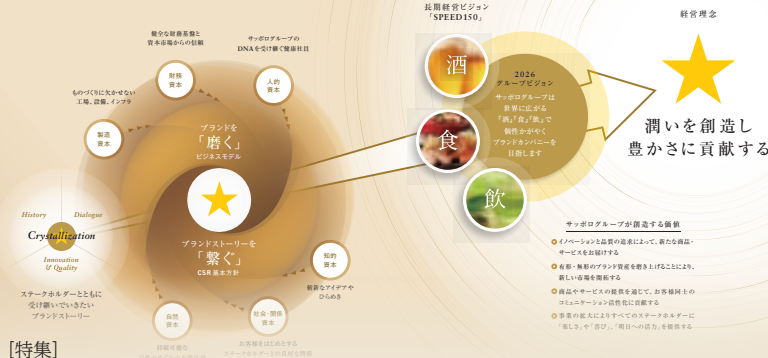
# 中間期株主通信

サッポロホールディングス株式会社

証券コード 2501



01 [トップインタビュー]  
世の中の変化に対応できる  
スピーディーな企業に  
進化していきます。



05 [特集]  
サッポログループの価値創造ストーリー



07 [サッポログループトピックス]  
「サッポロチューハイ  
99.99(フォーナイン)」  
新発売



10 [研究開発]  
ホップ研究での農芸化学技術賞受賞  
広島県大崎上島町における  
レモン長期観察介入研究、本格始動



11 [CSR]  
中長期目標と  
関連SDGs目標



世の中の変化に対応できる  
スピーディーな企業に進化していきます。

代表取締役社長

尾賀 真城

このたびの「平成30年7月豪雨」によりお亡くなりになられた方々へお悔みを申し上げますとともに、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

被災地が一日も早く復旧し、被災された方々の生活に平静が戻りますことをお祈りいたします。

Q1

2018年度上期を振り返り、  
営業状況についてお聞かせください。

国内におけるビール類と缶コーヒーの販売数量減が響き、業績は前年同期を下回りました。

2018年度上期は、国内におけるビール類の販売がRTD<sup>(注)</sup>に押され、また、缶コーヒー飲料の販売が競争激化を受けて減少したことなどにより、全体としては、想定よりも低調な営業状況となりました。

その結果、当上期の連結業績は、売上収益2,417億円(前年同期比3.6%減)、営業損失30億円(前年同期は12億円の利益計上)、税引前損失36億円(同7億円の利益計

(注)Ready To Drinkの略。缶チューハイ等の栓を開けてそのまま飲むアルコール飲料。

上)、親会社の所有者に帰属する四半期損失25億円(同2億円の損失)と、前年同期を下回りました。

事業セグメントごとに振り返ると、国内酒類事業は、ビール類全般の販売が苦戦し、業績が悪化しましたが、基軸ブランドである「サッポロ生ビール黒ラベル」については、近年の拡大基調を維持し、堅調に推移しました。

国際事業は、カナダのスリーマン社がビール販売を伸ばし、引き続き成長しています。サッポロUSA社と前期に連結子会社化したアンカーブリューイング社による米国展開も、セールスシナジーを徐々に発揮しつつあります。懸案となっていた米国の果汁販売は、今年4月に現地子会社2社の経営統合を実施したことにより、業績の悪化に歯止めがかかりました。また、東南アジア展開を進めるサッポロベトナム社も構造改革の効果が表れ、半期において黒字化しました。

食品・飲料事業は、国内におけるレモンやスープ、豆乳などが順調に拡大し、2016年に傘下に加えた「神州」ブランドの味噌も計画通りに推移しています。しかし、前述の通り缶コーヒー飲料の販売が減少したことから、当事業全体の業績は低調となりました。

外食事業は、人手不足に伴う採用コストの増加や原材料価格の上昇により厳しい経営環境にありますが、「エビスバー」を中心に堅調を維持しました。「銀座ライオン」は、今年4月より新しい経営体制の下、新業態の開発など今後の積極展開に向けてシフトしています。

不動産事業は、「恵比寿ガーデンプレイス」[GINZA PLACE]など首都圏の保有物件が高稼働率を維持し、賃料の引き上げによる収益性向上も果たしました。新たな取り

組みでは、札幌市の「創成川以東地区」再整備に合わせ、「サッポロファクトリー」の改装を進めています。

## Q2

中期経営計画に基づく事業戦略の進捗をご説明願います。

3つの事業戦略を着実に遂行。グループ経営基盤の変革に向けた「働き方改革」も推進中です。

当社グループは、創業150周年を迎える2026年までの長期経営ビジョン「SPEED150」を策定し、そのファーストステップとして、2017年度から4か年にわたる「第一次中期経営計画2020」に取り組んでいます。本計画は、事業戦略テーマとして「既存事業の継続的成長」「投資事業の成果創出」「成長機会の獲得」を掲げています。

計画2年目の当期におけるポイントを述べますと、「既存事業の継続的成長」については、国内のビール需要の減少傾向をどうカバーしていくかが課題です。プレミアムビールなど価格帯の引き上げにつながる商品の創出、海外展開の拡大、缶チューハイやハイボール、ワインの強化といった取り組みにより、売上の底上げを図ります。一方で主力の「サッポロ生ビール黒ラベル」の伸びは、依然として力強いものがあり、引き続き購買層の拡大に向けてブランド投資を進めていきます。

「投資事業の成果創出」では、ここ5年ほど先行投資を続けていたベトナム事業が現地におけるブランドの認知・浸透を得て、次の成長ステージへ移行しつつあります。現在、販売ルートの再構築・整理を図りながら、同時にグループ内の生産移管により、ベトナム工場の稼働効率

を高めており、当期は通年での大幅な業績改善を見込んでいます。もう一つの投資対象である米国のアンカーブリューイング社は、グループ入りからまだ1年を経過したところであり、大きな進展には至っていませんが、カナダのスリーマン社、サッポロUSA社と北米全体でのシナジー創出に向けて着々と準備が進んでいます。

「成長機会の獲得」では、「食」分野の拡大を目指してきた今までの取り組みを、グループとしてより骨太な事業に育成することが必要だと考えています。スープや豆乳といった「食」分野は成長可能性を十分に秘めています。それを早期に形にすべく適宜資金を投入し、スピーディーに強化していきます。

なお本計画では「グループ経営基盤の変革」を掲げ、その一環としてグループ各社の職場環境に合わせた「働き方改革」を進めています。サッポロビールでは、仕事の生産性向上とともに、社員の生活の充実と心身の健康を実現していく「働き方改革2020」を始動し、これに基づく新制度を2017年12月から導入しました。事業と一体化した人事・人財施策により、強固な経営基盤を築き上げていく方針です。

Q3 CSR経営についてどのように考え、実践していきますか？

「4つの約束」による事業活動と一体となった取り組みに努め、持続可能な社会の発展に貢献します。

当社グループは、CSR経営の推進における重点課題をまとめた「4つの約束」を定め、ステークホルダーとの信頼関係を構築する前提として明確化しました。「4つの約束」は、『「酒・食・飲」による潤いの提供』『社会との共栄』『環境保全』『個性かがやく人財の輩出』から成るもので、いずれも事業活動を通じた社会価値の創造に関連しています。こうした考え方と取り組みをわかりやすく株主・投資家の皆様をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様にお伝えし、同時にグループ社員の自覚と理解も促すツールとして「統合報告書」を今年6月に発行しました。

「4つの約束」を基本とする当社グループの取り組みは、



統合報告書2017

国内酒類事業



サッポロ生ビール  
黒ラベル



エビスビール



麦とホップ

国際事業 海外の主要工場



スリーマン社  
ゲルフ工場(カナダ)



サッポロベトナム社  
ロンアン工場(ベトナム)

ESG(環境・社会・ガバナンス)投資の観点からも高く評価されています。2018年は、損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント社(SNAM)が設定する「SNAMサステナビリティ・インデックス」の構成銘柄に7年連続で選定され、またFTSE Russell社が提供する「FTSE4Good Index Series」には15年連続で、年金積立金管理運用独立行政法人が採用している「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄には2年連続で選定されました。

今後もCSR経営による、事業活動と一体となった取り組みに努め、持続可能な社会の発展に貢献していきます。

#### Q4 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

お客様との接点である「ブランド」を強い絆に育てながら、新たな価値を生み出し、成長を目指します。

通期の連結業績については、国内酒類事業における市場の競争激化による影響や各事業の進捗を踏まえ、期初の予想数値を下方修正し、売上収益5,378億円(前期比0.2%増)、営業利益161億円(同25.7%増)、税引前利益151億円(同30.9%増)、親会社の所有者に帰属する当期

利益92億円(同28.0%増)を見込んでいます。剰余金の配当につきましては、「第一次中期経営計画2020」に則り、配当性向30%を目安とすることを計画しております。

なお当社は、このたび株主優待制度を変更し、長期的に当社株式を保有する株主様との関係をより一層大切にしていくなために、保有年数に応じた優待内容の拡充を図ります。引き続き企業価値の向上に努めながら、株主の皆様のご支援に報いるべく還元施策を充実させてまいります。

当社グループは「酒・食・飲」に携わる企業として、常においしさや楽しさ、喜びを追求し、多くの人々に提供し続ける存在でありたいと考えています。一方で、近年における世の中の変化は、そのスピードをますます上げており、私たちもその変化に対応したスピーディーな企業へと進化していく必要があります。そして、お客様との接点である「ブランド」を強い絆に育てながら、新たな価値を生み出し、その価値をお客様に認めていただくことで、持続的な成長を実現してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

#### 食品・飲料事業



ポッカサッポロ社商品

#### 外食事業



ビヤホールライオン 銀座七丁目店

#### 不動産事業



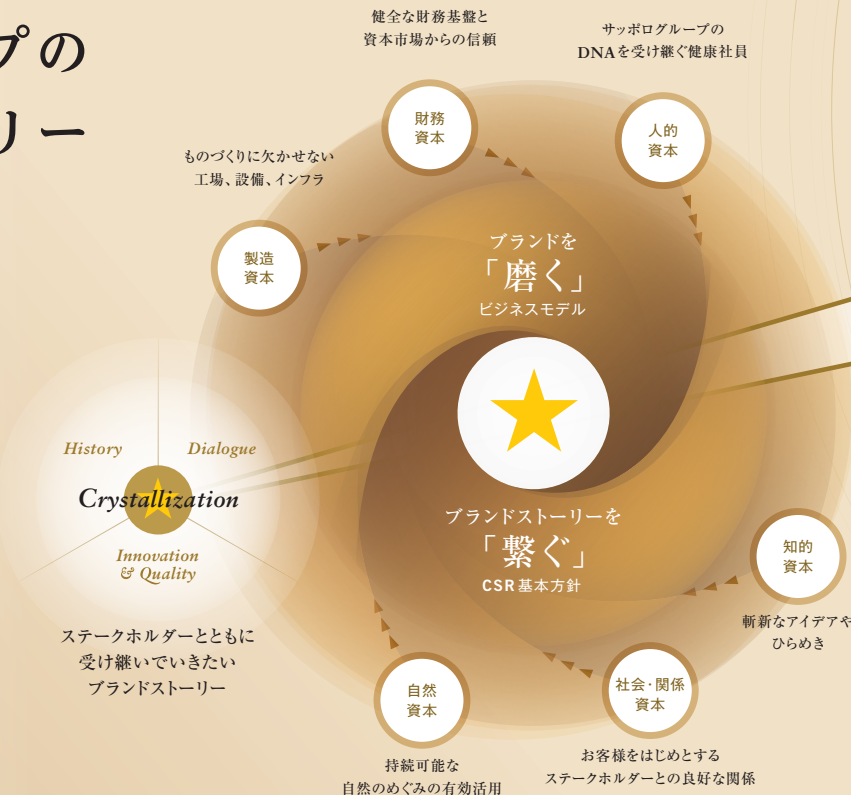
恵比寿ガーデンプレイス



GINZA PLACE  
(銀座プレイス)

# サッポログループの 価値創造ストーリー

サッポログループの価値創造ストーリーは、140年以上の歴史に基づく「ブランドストーリー」をステークホルダーと共有したい思いとして受け継ぎ、「潤いを創造し豊かさに貢献する」という経営理念の実現を目指すものです。



## サッポログループの価値創造ストーリー

サッポログループは1876年に、北海道・札幌の地で「開拓使麦酒醸造所」として創業しました。以来、140年以上にわたる歴史の中で、酒類はもとより、食品・飲料、外食、不動産へと事業のすそ野を広げ、日本国内のみならず世界へ「潤い」と「豊かさ」を提供してきました。

当社グループの歴史は、お客様をはじめステークホルダーの皆様と積み重ねてきた対話の歴史でもあります。対話から得られた気付きやヒントを糧に、イノベーションや品質の向上を追求しながら着実に育ててきたその結晶こそが、資産であり当社ならではの「ブランド」です。

価値創造ストーリーは、その「ブランド」を中核に、ブランドを「磨く」ビジネスモデルとブランドストーリーを「繋ぐ」CSR活動の両輪を大きく力強く回すことによって、当社グループが「個性かがやくブランドカンパニー」として独自の存在価値を發揮しながら、長期的に企業価値向上を実現する道筋をお示しするものです。

## ブランドを「磨く」

当社グループのビジネスモデルを支えるバリューチェーンでは、イノベーションや品質の追求にこだわりをもって商品やサービスを提供するだけでなく、お客様に愛され

こちらの価値創造ストーリーをはじめ、当社の事業、戦略等の詳細は統合報告書2017に掲載しております。詳しくはWEBをご覧ください。



[http://www.sapporoholdings.jp/ir/report/pdf/Integratedreport\\_2017.pdf](http://www.sapporoholdings.jp/ir/report/pdf/Integratedreport_2017.pdf)

酒

2026  
グループビジョン  
サッポログループは  
世界に広がる  
『酒』『食』『飲』で  
個性かがやく  
ブランドカンパニーを  
目指します

食

飲

## 潤いを創造し 豊かさに貢献する

### サッポログループが創造する価値


- イノベーションと品質の追求によって、新たな商品・サービスをお届けする
- 有形・無形のブランド資産を磨き上げることで、新しい市場を開拓する
- 商品やサービスの提供を通じて、お客様同士のコミュニケーション活性化に貢献する
- 事業の拡大によりすべてのステークホルダーに「楽しさ」や「喜び」、「明日への活力」を提供する

る飲食店やさまざまな施設の運営を通じ、お客様とともにブランドを育む活動である「ブランドを体感する空間の提供」を取り入れ、すべての事業活動を通じてブランドを「磨く」取り組みを進めています。また、お客様との接点拡大や信頼関係の深化を通じて、強い支持を獲得し、ブランドへの愛着を育むことで、当社グループならではの企業価値の創出に努めています。

ブランドを磨き続けることによって、商品やサービスの提供を通じたお客様同士のコミュニケーション活性化への貢献や、すべてのステークホルダーに「楽しさ」や「喜び」、「明日への活力」を提供し、当社グループ独自の

価値を創出します。

### ブランドストーリーを「繋ぐ」

当社グループでは、歴史に基づく「ブランドストーリー」をステークホルダーと共有したいという“思い”として受け継ぎ、CSR活動を通じて将来へ「繋ぐ」ことを目指しています。CSR重点課題として整理した、4つの約束のもと、いっそう力強くスピーディーにCSRを推進し、企業としての発展を目指すとともに持続可能な社会づくりに貢献します。(詳しくは)

サッポロビール

# 「サッポロチューハイ 99.99(フォーナイン)」 新発売

8/28  
新発売



## RTD市場で新しい価値を提案

サッポロビールは「サッポロチューハイ99.99(フォーナイン)」の2アイテム(クリアドライ・クリアレモン)を、8月28日に全国で新発売しました。また、新フレーバーとして「クリアグレープフルーツ」を11月13日に全国で新発売します。

本商品は、純度99.99%の高純度ウォッカ<sup>(注)</sup>を使用した透明感のあるクリアな味わいで、飲み飽きないスムーズな飲み口が特長の新しい本格チューハイです。

当社の調査結果から、RTDへ求められるニーズとして

「飲み飽きない美味しさ」や「上品な口当たり」、「本物感」や「高級感」といった新たな価値が求められていることがわかりました。そこでサッポロビールは、このニーズに真正面からお応えし、RTD市場に「研ぎ澄まされたうまさ」という新たな価値を提案いたします。

(注)エタノール以外の有機物割合が0.01%未満のウォッカを純度99.99%と当社として規定。



ブランドサイトもぜひご覧ください。 [URI](http://www.sapporobeer.jp/9999/index.html) <http://www.sapporobeer.jp/9999/index.html>





## コミュニケーションには 俳優・長谷川博己さんを起用

コンセプトの「研ぎ澄まされたうまさ」を体現すべく、映画・ドラマなどで活躍する俳優・長谷川博己さんをコミュニケーションに起用しました。TVCMは、発売日の8月28日からオンエアを開始しております。中味、パッケージデザイン、コミュニケーションの全てを一気通貫した新たなブランドマーケティングを展開し、伸長するRTD市場において当社の存在感を高めてまいります。



## Voice

サッポロビール ブランド戦略部  
グループリーダー

白井 勝彦



「驚きをカタチに」という事業ビジョンのもと、「愛のスクールホワイトサワー」などのコラボ戦略や、「男梅サワー」「キレートレモンサワー」などの「梅とレモン」に特化した独自のラインナップに加えて、「りらくす」を皮切りとする新基軸ブランドの育成に取り組んでおります。

本年4月に発売した「りらくす」は、ターゲットである女性からの支持を安定的に獲得し、発売3か月で年初目標の4割である40万ケース(250ml×24本換算)の販売を達成しました。下期も新フレーバー発売を中心に、販売を強化してまいります。「りらくす」に続く新基軸ブランドとして発売する「99.99」は、「りらくす」とは異なるストロング系RTD主飲用ユーザーである男性をターゲットに、新たな市場を開拓し、事業を拡大してまいります。絶対の自信作です。ぜひご期待ください。

## 開発担当



サッポロビール 新価値開発部  
第2新価値開発グループ  
シニアマネージャー

河野 あづさ

中味開発において「研ぎ澄まされたクリアな味わい」を実現するために、商品の一番の特徴である高純度ウォッカを中心に、その他の要素をできるだけシンプルにそぎ落として味を造り上げました。

同様にパッケージ開発においても、主要ターゲットである40代男性を意識しつつ、できるだけシンプルでスタイリッシュなデザインを目指しました。コンセプトはもちろんのこと、味もデザインもこれまでのチューハイとは一線を画した商品として、お客様に新しいチューハイの価値を提案します。

サッポロビールを代表するRTDブランドに育てていきますので、応援のほど宜しくお願いいたします。

サッポロホールディングス

## 「攻めのIT経営銘柄2018」に選定!

サッポロホールディングスは、グローバル規模でのIT基盤の共通化・標準化の推進や、AIなどの新たなデジタル技術を活用した取り組みについて高い評価を受け、ITの戦略的活用に取り組む企業として「攻めのIT経営銘柄2018」<sup>(注)</sup>に選定されました。

当社は、今後も積極的なIT投資を進め、迅速な意思決定とガバナンス強化を実現することで、長期経営ビジョン「SPEED150」達成に向けた「異次元スピードでの変革」を推進します。

(注)「中長期の企業価値向上や競争力強化」を重視する投資家向けに、経済産業省と東京証券取引所が魅力ある銘柄として選出するもの。



サッポロインターナショナル

## 環境省二国間クレジット制度 設備補助事業に採択決定

2017年(平成29年)8月、サッポロインターナショナルのグループ会社、サッポロベトナム・ロンアン工場の二酸化炭素排出量削減を目的とした設備投資に対して、環境省による平成29年度から平成31年度二国間クレジット制度<sup>(注1)</sup>を利用した設備補助事業<sup>(注2)</sup>に交付決定がなされました。この取り組みによって、年間約111トンの二酸化炭素排出量削減を見込んでいます。

今後も地球温暖化対策に積極的に取り組み、世界共通の環境目標を含む「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けて努力していきます。

(注1) 途上国への日本の優れた低炭素技術・サービス・インフラ等の普及や対策実施を通じ、実現した温室効果ガス排出削減・吸収貢献を定量的に評価し、日本国の削減目標の達成に活用する制度。

(注2) 途上国においてすぐれた低炭素技術を導入し、地球規模での温室効果ガスの排出削減を行う事業者に対して、環境省がその設備投資費用の補助を行う資金支援事業。

ポッカサッポロフード&ビバレッジ

## 「JELEETS(ジェリーツ)」シリーズ好調! 当シリーズの累計販売本数が、 発売2.5ヶ月で1,000万本を突破

ポッカサッポロは、1991年にふってから飲む「プリンシェイク」を発売して以来、デザート飲料として様々な商品を開発してきました。この春、特許出願中の「二層ゼリー製法」で本格的な味わいを楽しめる、新たなデザート飲料(スイーツドリンク)として「JELEETS コーヒーゼリー」「JELEETS 宇治抹茶ゼリー」を発売し、ターゲットとして想定していた30代~50代男性を中心に、多くのお客様にご購入いただきました。これからも、当社が得意とするデザート飲料において、新たな提案を行っていきます。



JELEETS  
コーヒーゼリー


サッポロライオン

## 川崎に銀座ライオン再び ~お食事メニューが充実したビヤレストラン~

サッポロライオンは、神奈川・川崎駅東口に、「ビヤレストラン 銀座ライオン 川崎駅前店」を8月13日にオープンしました。

人気のビヤホールメニューはもちろん、おひとり様や女性の方でも手軽に味わえるように、小さいサイズのスナックメニューも取り揃え、またホリデープレートや、ホットサンド、ハンバーグといった食事メニューを充実させました。世代を超えてご利用いただけるようなビールも食事も楽しめるビヤレストランを目指します。



 **ビヤレストラン  
銀座ライオン 川崎駅前店**  
神奈川県川崎市川崎区駅前本町4-24  
(電話 044-230-0477)

## ホップ研究での農芸化学技術賞受賞 [サッポロビール]

サッポロビールは、(公社)日本農芸化学会の「2018年度農芸化学技術賞<sup>(注)</sup>」を受賞しました。この受賞は、長年にわたるホップ品質の多角的な解析とその応用の取り組み



が高く評価されたもので、「ホップの栽培安定化へのグローバルな貢献」などの実績が決め手とな

りました。ビール醸造技術テーマでの同賞受賞は、2000年、2015年に

続き3回目となります。サッポロビールは、ホップの基礎研究・育種からそれらを用いた生産技術・商品開発まで、自社による一貫通貫した取り組みを通じてホップの可能性を広げ、それらの技術を活かした魅力的な商品を提供していきます。

(注)1968年から設置された、農芸化学分野において注目すべき技術的業績をあげた会員に授与される極めて権威ある賞。



## 広島県大崎上島町におけるレモン長期観察介入研究、本格始動

[ポッカサッポロフード&ビバレッジ]  
[サッポロホールディングス]

ポッカサッポロとサッポロホールディングスは、国内最大のレモン産地である広島県をはじめとする自治体とのレモンの振興や健康・食育などに関する協定の下、様々な共同研究などの取り組みを進めております。その一環として、公立大学法人県立広島大学と連携し、2017年2月より広島

県大崎上島町民123名を対象に、レモンの摂取状況と健康状態に関する実態調査を行いました。その結果、町民が全国平均と比べてレモンを多く摂っていることや、摂取量が多いほど骨密度や疲労感などの健康指標に良好な傾向があることがわかりました。



この結果を受け、さらに多くの方にレモンによる健康を実現していただくことを目指し、同町民成人約500名を対象に、全国初となる「レモン摂取による健康状態への効果」を確認する長期観察介入研究を本年5月より開始しました。5年間にわたる本研究を通じて、お客様の日常生活における健康づくりに貢献してまいります。



## 中長期目標と関連SDGs目標

CSR重点課題の解決に向けてSDGs(持続可能な開発目標)に関連づけた中長期目標を設定しました。この目標達成に向けた取り組みによりSDGsの実現に貢献し、成長の源泉であるブランドや信頼を形成していきます。



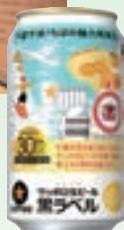
約束	重点課題	中長期目標	関連SDGs目標
約束1 「酒・食・飲」 による 潤いの提供	安全・安心 の品質	2020年までにグループ企業の各カテゴリに適した食品安全を保证する仕組みを導入し、国内はもとより観光などで訪日されるお客様にも安心して「酒」「食」「飲」を楽しんでいただけるグループを目指す。サッポログループの輸出および海外事業会社の商品・サービスを含めて世界中で信頼されるブランドとして受け入れ続けられるよう品質保証体制をさらに向上させていく。	
	新価値創造	2020年までに市場・消費者ニーズを起点として5つの素材(大麦・ホップ・レモン・大豆・乳酸菌)について健康・おいしさの研究と食品加工技術との組み合わせによって、「酒」「食」「飲」領域で新たな価値を創造・提案する。これからも新領域も含めてイノベーションを起こし、当社独自の価値を日本および世界で追求していく。	
	アルコール 関連問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2020年までに適正飲酒(お酒を楽しく飲んで健康に過ごす「正しいお酒の飲み方」)の具体的な啓発プログラムを確立する。</li> <li>●お客様接点となるミュージアムや工場見学にご来場するお客様などに、日本のビール文化を提供し知識豊かな生活に貢献する。</li> </ul>	
約束2 社会との 共栄	地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2020年までにすべての事業場において地域貢献活動を行う体制を構築する。</li> <li>●創業の地や拠点所在地、被災地において、物産品の消費促進・情報発信・次世代育成の活動を推進する。また、地域協定、パートナーシップ協定を通じて「まちづくり」や「食を楽しむ事業」に取り組み、地域の発展に貢献する。</li> </ul>	
	持続可能な 調達	2030年までにCSR調達要請の主要調達先による対応比率を90%以上とする。	
約束3 環境保全	地球温暖化 防止	2030年までに事業活動におけるCO <sub>2</sub> 排出量原単位を2013年比で12%削減する。	
	3Rの 推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●原料調達から廃棄・リサイクルに至る全事業活動で3Rを推進する。</li> <li>●2018年に水資源に関する定量目標を策定し、効率的利用に努める。*</li> <li>●2020年までにグループの国内全生産工場で廃棄物再資源化100%を達成する。</li> </ul>	
	自然との 共生	各事業会社で事業特性を活かした生物多様性保全に関する施策を毎年立案し、実施する。	
約束4 個性かがやく 人財の輩出	健康経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループ共通の従業員健康増進への取り組み(エリア保健師の配備、従業員健康取組宣言等)を強化する。</li> <li>●事業所内保育所運営企業と連携し、乳幼児向け食育を展開する。</li> </ul>	
	ダイバーシティ・ 人権	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2020年までに女性管理職比率を2014年比で倍増させる。</li> <li>●「女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画」における個別目標を達成する。</li> </ul>	
	人財開発・ 育成	ダイバーシティ&インクルージョンに向けた、女性・LGBT・障がい・介護に関する勉強会など、継続した活躍支援を推進する。	

\* 2018年5月に目標「2030年までにサッポロビールとポッカサッポロフード&ビバレッジの生産工場における合計水使用量を2013年比で6%削減(2013年時点の事業範囲を対象)」を策定

## 約束1 「酒・食・飲」による潤いの提供

### 千葉工場30周年・ 見学施設リニューアル

サッポロビール千葉工場は今年6月20日に竣工30周年を迎え、見学施設を全面リニューアルし、「新・黒ラベルツアー」をスタートしました。また6月5日に発売したサッポロ生ビール黒ラベル「千葉工場30周年記念缶」の売り上げの一部を「ちば環境再生基金」に寄付しました。大手では千葉県内唯一のビール工場として、地元の皆さまに愛され、貢献し続ける工場を目指します。



千葉工場  
30周年記念缶

## 約束3 環境保全

### 第27回地球環境大賞 「農林水産大臣賞」受賞

サッポロホールディングスは、第27回地球環境大賞において「農林水産大臣賞」を受賞しました。「キャッサバパルプからのバイオエタノール生産」の取り組みが高く評価されたもので、長年にわたり国内外の酒類製造で培った醸造技術を応用してバイオマスエネルギーの技術開発を進めてきた成果です。キャッサバ栽培が盛んなASEAN諸国へのバイオ燃料製造技術の普及、エネルギー・環境問題解決への貢献を目指しています。



CSR重点課題と4つの約束  
概念図

## 約束2 社会との共栄

### 「サプライヤーCSR調達ガイドライン」を策定

「サッポログループ調達基本方針」に紐づく「サッポログループ サプライヤーCSR調達ガイドライン」を2018年3月に策定しました。「安全・品質」「コンプライアンス」「人権・労働」「環境保全」「社会との共栄」「アルコール関連問題」に関し、サプライヤーと協働でCSRに取り組んでいきます。

### 株主優待制度を通じた東北復興支援

今年も株主様からの寄付金に当社から同額を加えた345万6,000円を、東北の復興支援に活用します。岩手県大船渡市へは「市花の“椿”をテーマと



した学習支援」、大槌町へは「小中一貫教育の柱として行われる“ふるさと科”学習支援」、福島県には「福島県の高校生による海外の高校生を招いての風評被害払拭発信」の取り組みに寄付しました。

## 約束4 個性かがやく人財の輩出

### 「プラチナくるみん」の認定

サッポロビールは2017年に厚生労働省より子育て支援に取り組むトップレベルの企業として、「プラチナくるみん」の認定を取得しました。仕事と家庭の両立を図るため、スーパーフレックスやテレワークなどの利用を促進し、心身とも健康であるよう支援を継続していきます。



次世代認定マーク  
「プラチナくるみん」

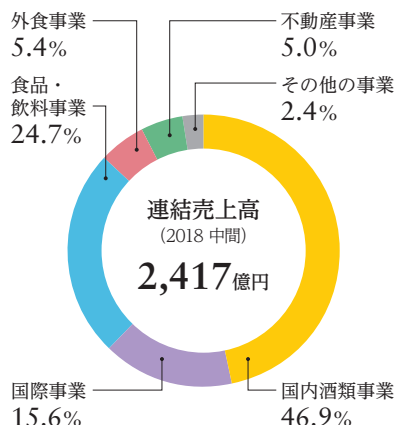
### 同性・内縁パートナーに福利厚生制度を適用

同性パートナーや内縁パートナーに対しても従来の配偶者と同等の福利厚生制度を適用しています。今後も、多様な発想や考え方を有する人財が最大限力を発揮できる環境の整備に取り組んでいきます。

※対象会社 2018年1月～：サッポロホールディングス、サッポロビール  
2018年4月～：サッポロ不動産開発

# 事業の概況

## セグメント別売上収益構成比



## セグメント別売上高

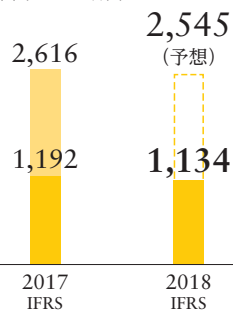
### 国内酒類事業

2018年中間売上収益前年同期比

△58億円減(△4.8%)



(億円) ■ 中間 □ 期末



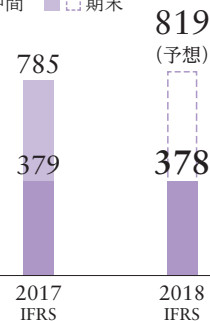
### 国際事業

2018年中間売上収益前年同期比

△1億円減(△0.2%)



(億円) ■ 中間 □ 期末



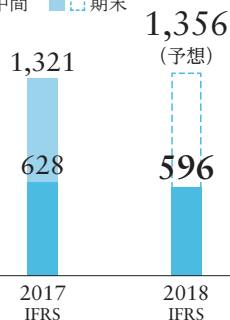
### 食品・飲料事業

2018年中間売上収益前年同期比

△31億円減(△5.0%)



(億円) ■ 中間 □ 期末



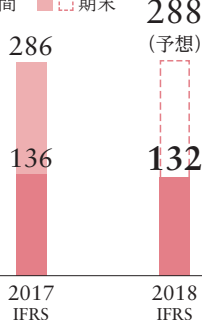
### 外食事業

2018年中間売上収益前年同期比

△4億円減(△3.2%)



(億円) ■ 中間 □ 期末



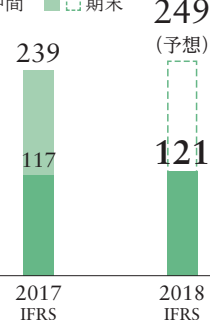
### 不動産事業

2018年中間売上収益前年同期比

4億円増(+3.1%)



(億円) ■ 中間 □ 期末



※2018年第1四半期より国際会計基準 (IFRS) に準拠して連結財務諸表を作成しております。前期につきましても、IFRSに準拠した数値を表示しております。

## IFRS任意適用の意義・説明

サッポログループは、日本のみならず、北米、アジアなどグローバルな事業展開を推進していることから、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上、グループ内での会計処理統一を目的として、当期から国際会計基準(IFRS)を任意適用しております。

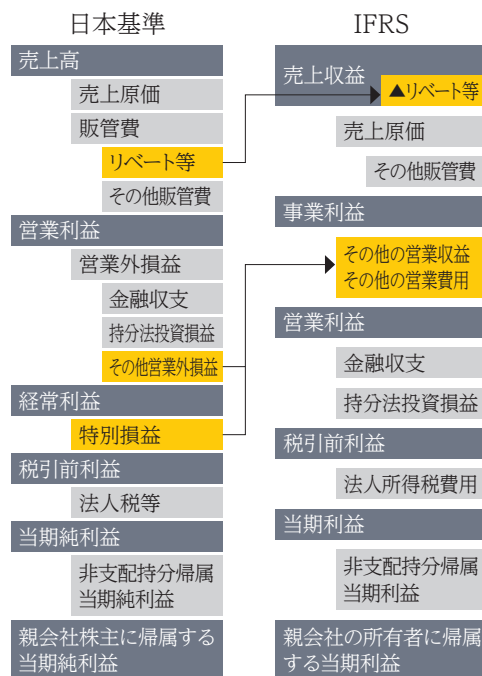
### IFRS任意適用による主な変更点

#### 売上収益

- リポート表示変更：「販売費及び一般管理費」➡売上収益からの控除へ変更
- 酒税の表示変更：一部海外子会社の売上収益表示を純額表示  
➡総額表示へ変更

#### 営業利益

- のれんの非償却化
- 有形固定資産の償却方法等の変更による、減価償却費の増加
- 期待運用収益率➡割引率への変更による、退職給付費用の増加
- 日本基準での特別損益やその他営業外損益の表示組替  
(金融収支や持分法による投資損益は含んでおりません。)
- 固定資産税を1月1日に全額計上することによる、四半期損益への影響  
(年間での影響はありません。)



IFRSを任意適用した際の第一次中期経営計画2020の経営目標数値については以下の通りです。

なお、IFRSの任意適用に伴う会計処理の変更の影響が少ない指標として、「EBITDA」を記載しております。

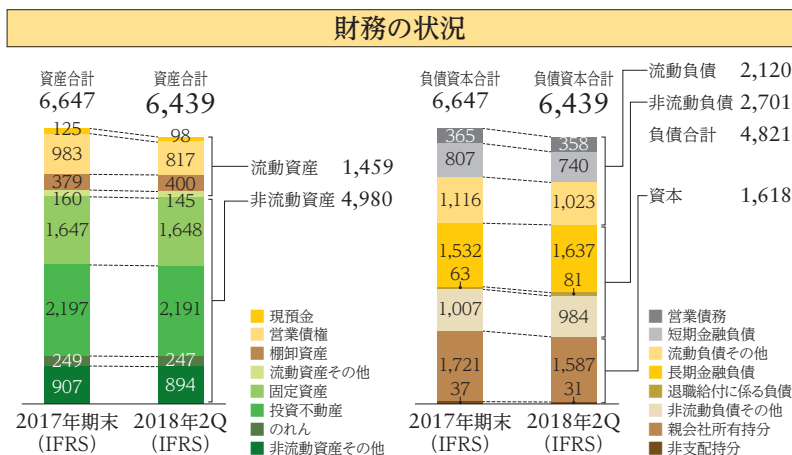
	2020年目標(日本基準)			2020年目標(IFRS)	
	売上高	のれん償却前 営業利益	EBITDA <sup>(注1)</sup>	売上収益	EBITDA <sup>(注2)</sup>
連結合計	6,400億円	340億円	590億円	6,250億円	580億円
国内酒類事業	3,150億円	140億円	230億円	2,934億円	225億円
国際事業	790億円	50億円	90億円	917億円	90億円
食品・飲料事業	1,620億円	65億円	124億円	1,565億円	124億円
外食事業	320億円	16億円	26億円	315億円	25億円
不動産事業	250億円	120億円	163億円	249億円	163億円
新規その他	270億円	9億円	8億円	270億円	8億円
全社	—	△60億円	△51億円	—	△55億円

注1 日本基準EBITDA=営業利益+のれん償却費+減価償却費

注2 IFRS適用後EBITDA=事業利益(売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除)+減価償却費

## 連結決算概要

### ★ 連結財務ハイライト (億円)\*単位未満四捨五入



### 資産合計

営業債権及びその他の債権の減少等によって流動資産が減少したことから、前連結会計年度末と比較して208億円減少し、6,439億円となりました。

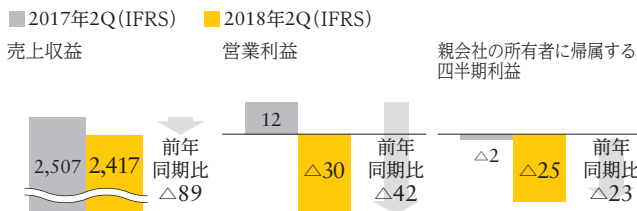
### 負債合計

社債の発行による長期金融負債の増加等があった一方、未払酒税や未払法人税の減少に伴う、その他の流動負債の減少等によって、前連結会計年度末と比較して69億円減少し、4,821億円となりました。

### 資本合計

四半期損失の計上、期末配当の実施等によって、前連結会計年度末と比較して139億円減少し、1,618億円となりました。

### 損益の状況



### 売上収益

国内酒類事業の「サッポロ生ビール黒ラベル」の缶製品やRTD、国際事業のスリーマン社等が好調に推移したものの、発泡酒・新ジャンルの売上数量が前年同期を下回ったことや、食品・飲料事業における国内の飲料売上が低調に推移したことなどから、前年同期と比較して89億円の減収となりました。

### 営業利益

国内酒類事業の競争激化等の影響を受け、ビール類の売上数量が減少したことや、缶コーヒー市場の低迷を背景にコーヒー飲料の販売数量が減少したことなどにより、不動産事業を除く各セグメントの売上が減少し、前年同期と比較して42億円の減益となりました。

### 親会社の所有者に帰属する四半期利益

営業利益の減少に伴い、前年同期と比較して23億円の減益となり、親会社の所有者に帰属する四半期損失は25億円となりました。

※2018年第1四半期より国際会計基準 (IFRS) に準拠して連結財務諸表を作成しております。前期につきましても、IFRSに準拠した数値を表示しております。

### キャッシュ・フローの状況

	2017年2Q	2018年2Q	増減	増減率
営業活動によるキャッシュ・フロー	182	111	△72	△39%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60	△115	△55	—
フリーキャッシュ・フロー	122	△4	△127	△104%
財務活動によるキャッシュ・フロー	△123	△21	102	—

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

未払酒税の減少があった一方、営業債権及びその他の債権の減少などにより、営業活動の結果得られた資金は、前年同期と比較して72億円減少し、111億円となりました。

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得や投資有価証券の取得により、投資活動の結果使用した資金は、前年同期と比較して55億円増加し、115億円となりました。



















### 財務活動によるキャッシュ・フロー

社債の発行による収入があった一方、長期借入金の返済や社債の償還による支出があったことにより、財務活動の結果使用した資金は、前年同期と比較して102億円減少し、21億円となりました。



## 優待制度変更のご案内

当社では、当社株式を長期にわたり継続して保有する株主様との関係をより一層大切にしていくことを主な目的として、株主優待制度の一部を見直し、長期保有株主様(3年以上)を優遇する制度を新たに導入いたします。また、3年未満保有の株主様には、これまで通り、従来の優待内容をお贈りいたします。

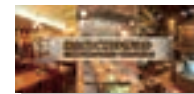
	新規 長期保有株主様 (3年以上保有) (注1)	3年未満保有の株主様 (注2)
100株～ 199株	<p>次の①～④の中から一つを選択していただきます。</p> <p>① ビール詰め合わせセット(350ml缶×6本)  +  限定ビール</p> <p>② 食品・飲料水詰め合わせセット(1,500円相当)  +  従来に加え商品拡充</p> <p>③ サッポログループネットショップ限定 ECクーポン(1,500円)</p> <p>④ 社会貢献活動への寄付(1,000円) (注3)</p>	<p>次の①～③の中から一つを選択していただきます。</p> <p>① ビール詰め合わせセット(350ml缶×4本)  ② 食品・飲料水詰め合わせセット(1,000円相当) </p> <p>③ 社会貢献活動への寄付(1,000円) (注3)</p>
200株～ 999株	<p>次の①～④の中から一つを選択していただきます。</p> <p>① ビール詰め合わせセット(350ml缶×12本)  +  限定ビール</p> <p>② 食品・飲料水詰め合わせセット(3,000円相当)  +  従来に加え商品拡充</p> <p>③ サッポログループネットショップ限定 ECクーポン(3,000円)</p> <p>④ 社会貢献活動への寄付(2,000円) (注3)</p>	<p>次の①～③の中から一つを選択していただきます。</p> <p>① ビール詰め合わせセット(350ml缶×8本)  ② 食品・飲料水詰め合わせセット(2,000円相当) </p> <p>③ 社会貢献活動への寄付(2,000円) (注3)</p>
1,000株 以上	<p>次の①～④の中から一つを選択していただきます。</p> <p>① ビール詰め合わせセット(350ml缶×18本)  +  限定ビール</p> <p>② 食品・飲料水詰め合わせセット(4,500円相当)  +  従来に加え商品拡充</p> <p>③ サッポログループネットショップ限定 ECクーポン(4,500円)</p> <p>④ 社会貢献活動への寄付(3,000円) (注3)</p>	<p>次の①～③の中から一つを選択していただきます。</p> <p>① ビール詰め合わせセット(350ml缶×12本)  ② 食品・飲料水詰め合わせセット(3,000円相当) </p> <p>③ 社会貢献活動への寄付(3,000円) (注3)</p>

さらに  
200株以上  
保有の株主様

上記とは別に200株以上保有の株主様に対してサッポロライオンチェーン等でご利用いただける「株主様ご優待割引券(20%割引券)」を5枚贈呈

ご優待券の使えるお店 [URL https://www.ginzalion.jp/yutai/shop.html](https://www.ginzalion.jp/yutai/shop.html)

サッポロホールディングス株主様ご優待割引券 [検索](#)



## 適用時期

- 2018年12月31日現在の株主名簿に記録された株主様から実施します。
- 長期保有者の対象は、2015年12月31日の株主名簿基準日より同一株主番号で株主名簿に記録のある、100株以上を連続3年以上保有している株主様です。

(注1) 長期保有株主様とは、「100株以上を連続3年以上保有している株主様」で、株主名簿基準日(6月30日および12月31日)の株主名簿に連続7回以上記録された同一株主番号の株主様をいいます。

(注2) 毎年12月31日現在の株主名簿に記録された長期保有に該当しない株主様は、これまで通り従来の優待内容となります。

(注3) 株主様からの寄付金額に加え、当社から同額を寄付いたします。社会貢献への寄付先となる活動団体については、毎年「株主様ご優待のご案内」でお知らせします。

## その他

お申込み手続きは、これまで通り定時株主総会の招集ご通知に株主様ご優待のご案内と申込書を同封してお送りします。

## サッポログループネットショップ

クーポンがご利用できる  
サッポログループの  
公式ショッピングモール



[URL https://www.sp-mall.jp/shop/](https://www.sp-mall.jp/shop/)

## 株主様アンケート結果のご報告

本年の株主様ご優待品の発送に同封いたしましたアンケートに、8,189名の株主様からご回答をいただきました。ご協力まことにありがとうございました。ここに、ご回答結果と株主様よりいただいたご意見等の一部をご紹介します。

### サッポログループに対するご意見ご要望をお聞かせください。

株主様



ベトナムでサッポロのビールを飲んだ。世界の人々にも楽しんでもらえるよう頑張ってください。

当社



「SAPPORO PREMIUM BEER」をお召し上がりいただきありがとうございます。アジアの他、北米、オセアニア、ヨーロッパなど約45か国で「SAPPORO PREMIUM BEER」を積極的に展開しています。また食品・飲料も海外で展開しておりますので、ぜひお楽しみいただくと幸いです。サッポログループは世界に広がる『酒』『食』『飲』で個性かがやくブランドカンパニーを目指します。

株主様



長期保有者の優待が楽しみです。

当社



当社株式を長期にわたり継続して保有する株主様を対象に、さらに株主優待内容の充実と、株主様の選択肢を拡充します。引き続き、サッポログループの各事業展開を身近に感じていただけるご優待品をお贈りさせていただきますので、お楽しみください。

100年続く我が国最古のビール会社。伝統を守りつつ、時代に合った製品を作り続けて欲しい。

『酒』『食』『飲』として安心、安全、誇りとサッポロの名汚す事のない様願っています。

優待は商品を知れるとてもよい機会となっております。神州一味噌もサッポログループなのだと知りました。

CSR、ESGを考慮した経営を期待しております。

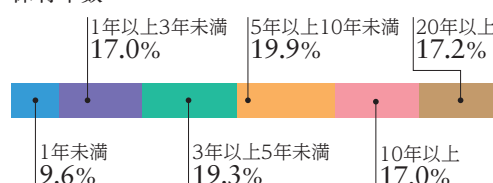
貴重なご意見・ご要望を賜り、まことにありがとうございます。今後の情報発信やIR活動などの参考にさせていただきます。

### ご回答者様データ

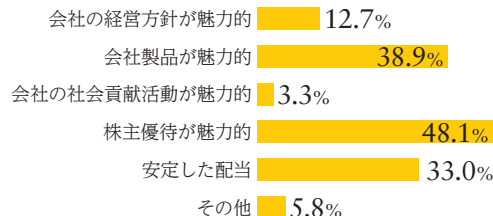
#### 性別



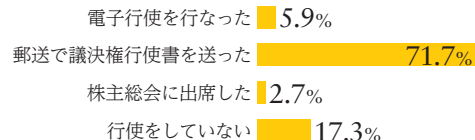
#### 保有年数



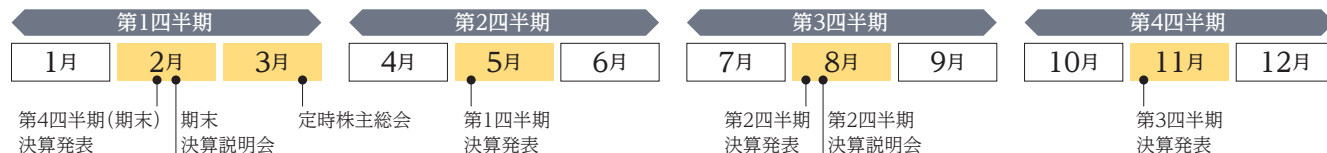
### 長期保有をお考えになるのはどのような場合ですか。



### 今回の議決権行使についてお聞かせください。



## IRカレンダー



★ 会社概要

商号 サッポロホールディングス株式会社  
(英文 SAPPORO HOLDINGS LIMITED)  
設立 1949年9月1日(創業明治9年)  
資本金 53,887百万円  
事業内容 持株会社  
連結対象会社数 59社(連結子会社57社、持分法適用会社2社)  
本社 〒150-8522  
東京都渋谷区恵比寿四丁目20番1号  
(恵比寿ガーデンプレイス内)

★ 株式の状況

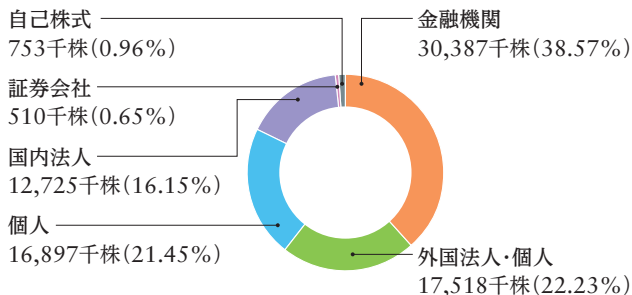
発行済株式の総数……………78,794,298株  
株主数……………55,301名

★ 大株主 (上位10名及びその状況)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,739	6.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,997	3.84
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	2,646	3.39
資産管理サービス信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ信託銀行口	2,442	3.13
日本生命保険相互会社	2,237	2.87
明治安田生命保険相互会社	2,236	2.87
農林中央金庫	1,875	2.40
丸紅株式会社	1,649	2.11
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,594	2.04
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,412	1.81

※ 持株比率は自己株式(753,896株)を控除して計算しています。

★ 所有者別株式分布状況



★ 役員 (取締役・監査役・グループ執行役員)

代表取締役会長	上條 努	常勤監査役	尾崎 聖治
代表取締役社長	尾賀 真城	監査役	関 哲夫
取締役 戦略企画部長	野瀬 裕之	監査役(社外)	佐藤 順哉
取締役 経営管理部長	征矢 真一	監査役(社外)	杉江 和男
取締役 人事部長	福原 真弓	常務グループ執行役員	高島 英也
取締役 グループR&D本部長	吉田 郁也	常務グループ執行役員	岩田 義浩
取締役(社外)	服部 重彦	常務グループ執行役員	三宅 祐一郎
取締役(社外)	鵜澤 静	常務グループ執行役員	生駒 俊行
取締役(社外)	マッケンジー・クラフトン	常務グループ執行役員	溝上 俊男
		グループ執行役員	岸 裕文

IRサイトのご案内

当社ホームページではIR情報や決算情報をはじめとした情報開示を行っております。



URL <http://www.sapporoholdings.jp/ir/>



CM紹介

## 今年も琥珀エビスを 9月11日から 期間限定発売



サッポロビールは、「琥珀エビス」缶を9月11日から期間限定で発売します。美しく澄んだ琥珀色と深いコクが特長の「琥珀エビス」は、飲食店にて樽生ビールとして通年で取り扱っていただいておりますが、「自宅でも楽しみたい」というお客様の声にお応えし、期間限定で缶を発売するもので、本年で13年目を迎えます。

通常のエビスビールよりも多くの麦芽を使用し、厳選したクリスタル麦芽<sup>(注)</sup>を配合することで琥珀色の深みのある味わいを実現しました。パッケージは、琥珀エビスのキーカラーである「赤」を踏襲し、深いコクと鮮やかな液色を表現しました。発売当日からオンエアされるTVCMでは、滝川クリステルさんを引き続き起用し、エビスビールと共に琥珀エビスの世界観や美味しさを描きます。

コク深く、まろやかな味わいの「琥珀エビス」缶を今年もぜひお楽しみください。

(注)カラメル麦芽の一種で、美しい琥珀色と深いコクを付与する麦芽

### 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月
配当金受領の株主確定日	12月31日及び 中間配当を実施するときは6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 (フリーダイヤル)0120-288-324
公告方法	電子公告 <a href="http://sapporoholdings.jp/">http://sapporoholdings.jp/</a> ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。

### 株式事務に関するご案内

#### 配当金の口座振込の制度をご存知ですか？

配当金を郵便局の窓口で  
お受け取りの場合

- 受け取り忘れのリスクがあります。
- 郵便局へ行く手間がかかります。

#### 配当金の振込指定の場合

ご指定の口座に振り込まれるため、配当金のお支払い開始日に安全かつ確実に配当金のお受け取りができます。

#### ■ お手続きに関するお問い合わせ先

- 証券会社に口座をお持ちの株主様は、お取引口座のある証券会社へお問い合わせください。
- 特別口座に記録されている株主様は、みずほ信託銀行株式会社証券代行部へお問い合わせください。

#### 特別口座からの 振替のお手続きは お済みですか？

特別口座に記録された株式は、単元未満株式(100株に満たない株式)の買取・買増請求を除き、売買や譲渡等のお取引を行うことができません。特別口座に記録された株式の取引を行うためには、証券会社にお取引口座を開設していただくうえで、特別口座から証券取引口座に振替を行っていただく必要があります。特別口座から証券取引口座への振替をご希望の株主様は、みずほ信託銀行株式会社証券代行部へお問い合わせのうえ、お手続きをお願いします。



発行者：サッポロホールディングス株式会社

〒150-8522 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番1号(恵比寿ガーデンプレイス内)